

文化の力で大阪に活力を。

# OSAKA\*文化力

No.103

2008 AUTUMN・秋

リレーエッセイ

私のsweet水都

楊 強 中国国家観光局 大阪駐在事務所 所長

Front Opinion

大阪の文化振興、今とこれから

山崎正和×堀井良殷

大阪元気文化を掘り起こせ!

大阪文化祭

大阪ブランド物語

オリックス・バファローズ

大阪文化考

私と浪曲 —いま大阪から伝えたいこと—

春野恵子 浪曲師

メセナを探せ

稲畑産業株式会社

財団法人 大阪21世紀協会

関西から  
文化力  
POWER OF CULTURE

# 楊 強 (Yoh Kyoh)

中国国家観光局 大阪駐在事務所所長(首席代表)

## 中国をもっと知ってほしい

8年前に北京オリンピックの開催が決まったとき、中国国内はお祝ムード一色に染まりました。それは中国という国、北京という都市が、こうした大イベントを開催できる経済的・技術的・文化的力を備えていると世界の国々に認められた喜びに他なりません。そして来る2010年には、上海で万国博覧会が開催されます。観光局としては、これらのイベントをきっかけにして、世界の人々が中国に対する興味をさらに深め、より多くの観光客にお越しいただけるよう、さまざまな活動を続けているところです。

1949年に中華人民共和国が建国され、60年を迎えようとしています。そしてこの間、中国は大きな発展を遂げてきました。私たちはそうした事実に加え、世界のグローバル化が叫ばれるいま、中国という西側先進諸国とは異なる社会制度があってもいいということ、世界の人々に知っていただきたいと思っています。

## 日本への新たな認識

中国を訪れる日本人観光客は昨年1年間で397万人と1位の韓国に次いで多く、年々着実な伸びを見せています。しかし今年に限っては、ギョーザ事件やラサでの暴動、四川大地震の発生により、今年1月から5月の日本人観光客は前年比9%減という初のマイナスに転じてしまいました。しかし私たちは、この数字に悲観はしていません。オリンピックや万博といったプラス要因に加え、胡錦濤主席の訪日によって日本に関する報道が中国国内で多く報道されたことで中国人の日本に対する認識が高まりました。また震災においては、日本の救助隊の献身的な活動を目の当りにして、礼儀正しく優しい心、仕事への真摯な姿勢、効率の良い組織力やルールなど、日本から学ぶものは多くあるというムードが中国国内で広がっています。こうした認識こそは、双方向の観光施策を目指す私たちにとっても、非常に良い土台になってくれると信じています。

## 水と親しむ機会の多い大阪に

北京から大阪へ赴任して強く感じることは、地下鉄や電車など交通網の便利さや人々の温かさです。また、大阪は水の都といわれていますが、これについては少し残念な思いがあります。例えば大阪城近辺の大川では、お花見や天神祭の季節には人々の水辺で楽しむ姿がよく見られますが、普段の日はそうした機会が非常に少ないように感じるからです。

現在、日本に来る中国人観光客は、昨年1年間で138.5万人(JNTO・国際観光振興機構調べ)。経済的な理由や奈良・京都などへのアクセスの良さから、東京より大阪で宿泊する人が増えています。また、関西空港から中国の19の都市へ直行便が出ています。こうしたアクセスの良さを活用して、両国の観光交流を一層促進していきたいと思っています。



中国国家観光局 大阪駐在事務所 (大阪市浪速区/平成20年6月25日)にて

### 楊 強 (Yoh Kyoh) 氏

- 1953年 江蘇省出身
- 90年 中国国家観光局入局
- 92年 同局 国際連絡司 外事管理处 副処長
- 96年 香港中国国際旅行社株式会社 社長補佐
- 2000年 アジア観光交流センター シニアアシスタントディレクター
- 01年 中国国家観光局 ホテル管理处 処長
- 03年 同局 人事労働教育司 副司長
- 07年 3月より現職



## 山崎正和氏に聞く——

# 大阪の文化振興、 今とこれから



山崎正和 (やまざき まさかず) 氏

1934年京都府出身。京都大学文学部哲学科卒業。関西大学教授、コロンビア大学客員教授などを経て、大阪大学教授、同大学名誉教授。平成3年兵庫県立芸術文化センター芸術監督就任、平成15年同センター芸術顧問就任。平成13年より中央教育審議会委員として、教育・文化・行政全般の政策策定に参加し、平成19年より会長。東亜大学学長、財団法人サントリー文化財団理事を歴任。現在、LCA大学院大学(大阪市北区)学長。

平成5年大阪文化賞、平成11年紫綬褒章、平成18年文化功労者。



堀井良殷 理事長

今、あらためて1982年に大阪21世紀協会が設立された時の「文化立都宣言」を読みますと、「美しく品格ある人間のすみかをつくり、歴史の贈り物にしよう」と呼びかけています。しかし今、文化は折からの逆風にさらされて難渋しています。大阪人としての志や矜持はどこへいったのか、文化の森は育つのか。大阪の文化振興に尽されて長い山崎正和氏に、今、大阪が歩むべき道について伺いました。

ゲスト 山崎正和 (LCA大学院大学学長・中央教育審議会会長)

聞き手 堀井良殷 (大阪21世紀協会理事長)

## 文化立都の志

**堀井** 大阪21世紀計画は、大阪の文化レベルを底上げしようと高い志を持った人たちによって展開された一大社会運動でした。今、その26年を振り返って、山崎さんは、現在の大阪をどのように見ておられますか。

**山崎** 私は、大阪の文化振興のお手伝いをして40年になります。昭和51年、大阪商工会議所の主催で「都市の復権」をテーマに『大阪都市文化会議』を開きました。当時、私は大阪大学の教授としてこれに加わり、作家の小松左京さんや司馬遼太郎さん、梅棹忠夫さん(国立民族学博物館館長・当時)、佐治敬三さん(サントリー社長・当時)といった関西の知識人や経済人とともに、「大阪をなんとかしよう」と、新しい時代における文化都市・大阪のあり方についてさまざまな提言を行いました。その後もいろいろな局面でお手伝いをしてきましたが、いまだに同じ議論が繰り返され、状況はむしろ悪くなっていると思います。梅棹先生はすでに40年前に「大阪は下衆の町や」と喝破していましたが、やはり大阪は市民も含めて、現実を直視しなくてはなりません。大阪よりも経済的に苦しくて、人口流出も激しい中小都市のほうが元気ですね。危機感が目前に迫っているから、若い人たちも動き出す。例えば、サントリー文化財団では毎年、「地域文化賞」を出しています。各地の放送局や新聞社に推薦していただき、選考委員会にかけて決めるのですが、そうした中小都市のほうが頑張っていて、大阪からの受賞者はとても少ない。大阪は中途半端に豊かで、危機感が足りないのかもしれない。

**堀井** それでも、大阪のまちはずいぶん美しくなったと思います。文化立都に志を寄せる人々も増え、それなりに活動が展開されてきた気がするのです。21世紀を迎えて、今度はなぜ、逆風にさらされるような状況が生まれたのでしょうか。

## 二つのアイデンティティー

**山崎** たしかに美しくはなりました。しかしある時から、大阪人のアイデンティティーのありようが、今日の根本的な不幸を生みました。大阪と名古屋を比較すると、大阪は日本で「最小の全国都市」で、名古屋は「最大の地方都市」なんですね。名古屋には、昔からの素封家や経済人といった豊かな人たちが市内に住んできました。つまり名古屋人は名古屋にいるわけです。ところが大阪は、江戸時代から徳島商人や近江商人といった人たちが来ているように、さまざまな出自の人たちがたくさん集まってできた都市です。大阪の沖縄県人会は、現在7万人の会員がいる。大阪に住んでいる人たちは、かなりのパーセンテージで地方から来られた人でしょう。一方、大阪出身の指導的立場にあった経済人たちの多くは、阪神間など大阪の外に住んでいます。名古屋と違って地元出身者が少ないにもかかわらず、何故か大阪はナショナリズムを追求してしまいました。私はかねて非常に心配し、反対もしたスローガンに「好きやねん大阪」というのがあります。当時、「I♥NY(アイラブニューヨーク)」というステッカーがありました。大阪生まれ育ちの人が言うならまだしも、地方出身の大阪人にとって、「好きやねん」という言葉は外国語に等しい。大阪はさまざまな人が集まる全国都市としてのアイデンティティーを打ち出すべきだったのに、ローカルティーで人々を鼓舞しようとしたことが大きな問題です。

**堀井** たしかに大阪の原点は、人やモノの交叉集積の場ですね。

**山崎** もうひとつは、大阪は「庶民のまち」、という打ち出しかたです。大阪の人たちは、実際は高尚な趣味を持っているし、生活水準の高さを求めている。ところが東京と京都が気になってしかたがないのです。大阪から見ると、東京人は威張っているし、京都人は気取っている。それならば「大阪は庶民のまち」と打ち出したのです。実質的には良いことでも「庶民のまち」というスローガンを掲げた途端に、まちの中をステテコと腹巻きで歩いてもいいんだというセンスを生んでしまいました。これは大きな問題です。中央の権威に屈しない大阪人気質は良いのですが、不必要に自虐的・自悪的趣味に走って、権威というものを自らつくる努力をしていないのです。だから、よその人は大阪をなめる。かつて司馬遼太郎さんが「“ここから大阪府”という案内板を見た途端、ドライバーが窓からタバコの吸殻を捨てる」といったのを思い出します。また、大阪に対する極端に偏ったイメージを広めてしまった作家たちもよくありません。今東光は河内弁と大阪弁を一緒にしたばかりか、河内の人々をデフォルメして描きました。林芙美子が『めし』という小説を書きましたが、すべての大阪人が小説に描かれているような庶民生活をしているわけではありません。そうして、大阪の庶民意識とは、高級文化を嘲笑い、反抗心を燃やす対象である、としてしまったのです。歴史を振り返ると、大阪はとてもハイカラなところでした。大正末期から昭和初期にかけて活躍した大阪出身の三好達治(詩人)や佐伯祐三(画家)は、当時ハイカラの最先端を行くモダニストでした。また東京銀座の向こうをはって、大阪にもいわゆるカクテルバーが生まれました。大阪というのは多彩な文化をもっていたのですが、戦後になってそういうハイカラな側面が忘れられてしまったような気がします。

## 経済界と自治体

**堀井** 大大阪と呼ばれた時代は、文化・芸術・産業が活気にあふれていました。

**山崎** そうです。また大阪の経済界には、経済や文化のリーダーシップを担おうという意識が昔から強くありました。関西経済連合会は、日本経済団体連合会の向こうを張るぐらいの意気込みでした。各企業から出向した研究員が、企業の枠を越えて大阪を考え、天下国家を論じてきました。そうした気概が企業にありました。それは関西電力、住友金属、住友銀行であり、ちょっと異色ですがサントリーとか、ダイキンのリーダーはおもしろい人でした。そのことが皮肉にも行政を弱くしてしまいました。弱くなったというより、行政が責任を感じなくなるような状況を作ってしまった。

**堀井** もちろん、行政でリーダーシップを発揮されたかたもおられましたけど。

**山崎** 大阪市長で頑張った方は何人かいます。なかでも大島靖さんは、なかなかのアイデアマンで、部下の統率力にも長けていました。戦後長らく闇市の様相だった大阪駅前を、区画整理し、駅前ビルを建て、変貌させた人です。その大島さんから、「駅前ビルは高層階の人氣がない。お客さんを呼び込むためにはどうしたらいいか」と聞かれたことがあります。そこで私は、「音楽ホールが劇場か、何か人の集まる場所をつくればどうか」と提案しました。「上層階で音楽や芝居を楽しんだお客さんは、帰りの階でいろんな店



にも寄るでしょう」と。大島さんはそのアイデアを大いに喜ばれて、さっそく次の日、市の担当局長を阪大にある私の研究室に差し向けられました。そして部屋に入ってくるなり、「先生、殿がご乱心です。先生の口からあの計画を潰してください」っていうのです。私は何が問題なのか聞き返しました。すると、もう設計は済んでいるので、今から劇場に変更すると消防法とかに引っかかるし、お金もかかるというのです。結果、およそ文化的な魅力を感じない4つのビルが、今も大阪駅前に建っています。

**堀井** とかく日本ではハコモノ発想が優先して、ソフトのシステムづくりがなおざりにされます。

**山崎** 何かあっても良さそうなものです。中身のソフトを考えれば、いくらでも工夫のしようはあったのに、出来なかった。大島さんという歴代でも有能な市長ですら、リーダーシップを発揮できない組織が問題です。例えば、大阪大学が医学部を市内から引き上げて千里に移すと、跡地ができます。そんなことは前から分かっていたから、関経連が主導してその跡地に文化施設を作ろうというプランを立てたんです。それで我々を召集して研究しました。関経連が自腹で調査班を2班作って、アメリカとヨーロッパへ視察団を派遣したのです。

**堀井** それが「中之島舞台芸術センター構想」ですか。

**山崎** そうです。関経連だけでなく、佐治敬三さんとか、ダイキンの山田稔さんとか、当時の若手の経営者たちが大きな声を上げてくれました。本当にできそうな勢いでしたが、行政が乗ってこない。こういうものは財界だけでは無理なので、まだ実現していません。参考までに、兵庫県が西宮に作った兵庫県立芸術文化センターは、いま、もの凄い人気です。喜歌劇『メリー・ウィドウ（6月21日～7月6日）』の千秋楽を観劇したのですが、お客さんはほとんど西宮の人たちです。西宮市には40万人しか住んでいません。県の政策もよかったし、佐渡裕芸術監督が頑張っていることもあって、地元での人気はとても高い。なにしろタクシーの運転手が自発的にチラシを積んで配ってくれる。そういう雰囲気大阪にまったくない。向こうでできることが、なぜできないのかという気がします。また、尼崎市にピッコロシアター（兵庫県立尼崎青少年創造劇場・1978年創立）があります。当時その建設に参画していた私は、演劇を通して地域のリーダーとなる青年を育成する目的で、ここに演劇学校を作りました。ある日の卒業公演を兵庫県知事が観に来られ、いたく感激されました。そしてこのノウハウを教育に取り入れたいと仰しかった。

私は、さっそく公立高校のなかに演劇科をつくるプランを立て、知事に説明しました。高校の演劇科は、いわゆるタレント養成学校ではありません。相手の顔を見て、大きな声で、正しい日本語で話せるような立体的な国語教育を行うものです。将来、企業に入社し、上級の学校に進んだときに必ず役立つと申しました。すると知事は県の教育長を呼びつけ、当時建設中の高校のなかから宝塚北高校を選んで、「来年4月、ここに演劇科をつくるから左様心得よ」と指示されました。6月のことです。教育長はびっくりして、「学校を企画して設立するとなると、3年はかかります」と反対しましたが、知事は譲らない。そして翌年4月、ついにその高校に演劇科が発足しました。かつて大阪市からも公立高校に演劇科を作りたいとの諮問がありましたが、こちらはその話があったから（市立咲くやこの花高校に）実現するまでに十数年もかかりました。

**堀井** やろうと思えば兵庫県のようにすぐできるのですね。文化拡充には、やはり強いリーダーシップが必要です。文化を市場原理のまま放置すると「不易流行」のバランスが崩れてしまいますから。

**山崎** それから、企業のほうも少しずつ東京に集中し始めました。非常に残念なことです。多くの企業の「大阪本社」は戸籍上の名ばかりになってしまい、中枢機能は東京に移っています。さらにもうひとつ付け加えるならば、マスコミです。NHKは例外で、大阪を可愛がってくれていますが、新聞社の大部分は大阪出身であるにもかかわらず、いまは東京です。大阪の文化部をどんどん縮小して東京配信でやるわけです。滑稽な話ですが、私が書いた原稿を取りにくるのは東京の文化部です。東京で一元取材をし、それを全国に流せば安くつきます。そういう非常に近視眼的な利益追求です。

## ソフトパワー

**堀井** 私も同じような経験をしていますから、身につまされるお話です。ところで同じ大阪駅前でも、現在、北側の貨物ヤード跡地の開発が進み出そうとしています。すでにロボットセンターを中心としたナレッジキャピタル構想が決まっていますが、私はもう少し文化の香り立つ施設がほしいと思っています。また、中之島に目を移せば、大阪大学の医学部跡地の開発も注目されています。今年10月、京阪中之島線の開通を機に中之島西部へのアクセスが良くなりますから、阪大跡地の利用は大きな話題になるでしょう。私どもが心配しているのは、昨今の大阪の財政危機で、あの貴重な土地が切り売りされはしないかということ。万一そうなって文化的な賑わいが失われては一大事ですから、かねてより構想半ばの「舞台芸術総合センター」と「近代美術館」のアイデアを早急に再検討する必要性を感じます。目下それらを単独で建設するだけの財源はどこにもありませんから、ホテルや事務所、商業施設などと合築させ、地下部分をホールにするとか、ワンフロアを美術館に充てる。そういう運動を起こせないかと思っています。

**山崎** それができれば何よりです。これは私の夢物語ですが、大阪を文化的・経済的に理想的なまちにする革命的な方法として、東京と同じように「都」にするという考え方です。大阪府のなかには政令指定都市が二つあって、人口の3分の1がそこに住んでいます。この際、府や市といわず大阪都にすれば、市長や知事、議員



## 大阪の元気文化を発信して45年 大阪文化祭

### 多彩なジャンルから77もの公演参加

大阪府・大阪市・(財)大阪21世紀協会は、大阪の芸術文化活動の奨励と普及をはかる目的で、大阪府内で行われる公演などを対象に、昭和38年より『大阪文化祭』を実施している。また、同祭でとくに注目すべき成果をあげた人や団体には、大阪文化祭賞運営委員会(会長:堀井良殿大阪21世紀協会理事長)より、「大阪文化祭賞グランプリ」「大阪文化祭賞」「大阪文化祭奨励賞」が贈呈され、その成果が讃えられている。45年目の今年は、5～6月の2か月間で実施。伝統芸能や現代演劇、大衆芸能、洋舞・洋楽など、幅広いジャンルから77もの公演参加があり、そのなかからグランプリ1件、奨励賞7件が決定した。

### 今年度グランプリは地主薫バレエ団に

今年度の大阪文化祭賞グランプリは、大阪市に活動拠点を置く地主薫バレエ団に贈られた。受賞公演は物語バレエの名峰で知られる「ロミオとジュリエット」全3幕。シェイクスピアの代表的な悲劇だが、大がかりなセットと多数のダンサーを必要とするため、バレエで全幕上演される機会は少ない。同団は、創立20周年記念公演として、この全幕上演に挑戦。主役ジュリエットには、同団で育ち現在はボストンバレエ団で活躍中の倉永美沙さんが、ロミオには同バレエ団の若手ホープである奥村康祐さんが務めた。大阪文化祭でバレエ団がグランプリを受賞するのは初めて。

主宰者の地主薫さんは、「知らせを聞いて驚きました。主役の倉永は“大阪で踊れるならぜひ!”と公演のために喜んで帰国してくれ、幼い頃から一緒に踊ってきた奥村とともに息のあった踊りを見せてくれました。20年間の総仕上げとして“成せば成る”の精神で挑んだ大作でしたが、現代にも通じる喜びや怒り、悲しみという感情を観客に理解していただけるよう、ドラマ性を大切にしました」と喜びを語った。また、奨励賞には文楽若手の豊竹睦大夫氏・鶴澤清旭氏などに贈られた。

大阪文化祭は、これからも元気な大阪文化を発信しつづける。

地主薫バレエ団創立20周年記念公演『ロミオとジュリエット』  
(演奏は関西フィルハーモニー管弦楽団)

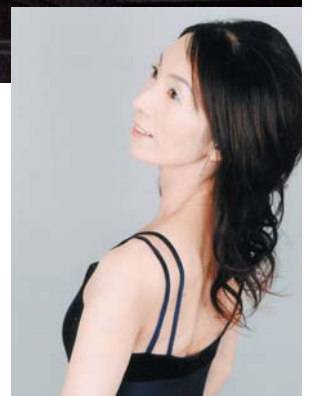


©尾鼻文雄



©尾鼻文雄

大阪文化祭賞グランプリの公演『ロミオとジュリエット』のワンシーン



地主薫さん  
(地主薫バレエ団主宰)

### 平成20年度 大阪文化祭賞受賞者

#### 第1部門(伝統芸能・邦舞・邦楽)

奨励賞 豊竹睦大夫(とよたけ むつみだゆう/文楽・太夫)

奨励賞 鶴澤清旭(つるさわ せいき/文楽・三味線)

奨励賞 山村若嶋紀(やまむら わかしまき/上方舞 日本舞踊)

#### 第2部門(現代演劇・大衆芸能)

奨励賞 一風亭初月(いっふうてい はづき/浪曲 曲師)

奨励賞 南条好輝(なんじょう こうき/俳優)

奨励賞 劇団コーロ(演劇)

#### 第3部門(洋舞・洋楽)

グランプリ 地主薫バレエ団(じぬし かおる/クラシックバレエ団)

奨励賞 晴 雅彦(はれ まさひこ/声楽家 バリトン)

奨励賞 谿 博子(たに ひろこ/ピアニスト)

## 2008年シーズンから大阪本拠地に一本化 オリックス・バファローズ

**Buffaloes**  
ORIX Baseball Club



### パ・リーグ最速4500勝達成

オリックス・バファローズは、2005年から07年まで、大阪府と兵庫県をダブルフランチャイズとしていたが、2008年シーズンから本拠地を大阪府に一本化した。現在、唯一大阪を本拠地にするプロ野球球団である。

そのオリックスが、さる6月3日のセ・パ交流戦で巨人を8-3で下し、前身の阪急軍時代から数えて通算4500勝を達成した。巨人の5087勝、阪神の4512勝（ともに6月3日現在）に次ぐ記録で、パ・リーグでは最速の達成となる。

### 関西のプロ野球人気を支える

オリックス・バファローズのルーツは、今から72年前、1936年の阪急職業野球団に遡る。阪急は、巨人、大阪タイガース、名古屋、セネターズ、大東京、金鯱（きんこ）とともに、日本のプロ野球をスタートさせた7球団のうちの一つ。オーナーの小林一三・阪急電鉄社長（当時）は、選手たちに「諸君の手で日本一強いチームを作ってくれ。タイガースには絶対負けるな」と檄を飛ばしたという。阪急の宿敵は阪神だったのである。

阪急ブレーブスとなってからは、近鉄バファローズや南海ホークスとともに、関西におけるプロ野球の存在を全国に知らしめてきた。1967年以降、名将・西本幸雄監督や上田利治監督のもと、山田久志、福本豊、加藤英司といったスタープレーヤーが活躍し、リーグ優勝12回、日本一4回を達成。真の「勇者（ブレーブス）」と讃えられた。そして1989年、阪急はオリックスに球団を譲渡し、通算3252勝の戦歴を残して53年の歴史を閉じた。

### 歴史を大切に

オリックス・ブルーウェーブとなってからは本拠地を神戸に移し、仰木彬監督（1994年着任）のもと、イチローフィーバーが野球界を席卷。95年の阪神・淡路大震災後は、「がんばろうKOBE」を合言葉に戦いに挑むなど、オリックスの活躍はスポーツ界にとどまらず社会現象にまでなった。そうして迎えた2004年、オリックスは近鉄バファローズと合併。現在のオリックス・バファローズとなった。4500勝目の指揮官は、現役時代に阪急・福本選手の連続盗塁王を13年で止め、「近鉄史上最高の一番打者」と謳われた大石大二郎監督代行。元近鉄ファンにとっては、この4500勝を複雑な思いで讃えたであろうが、それは元阪急ファンにしても同じであったろう。

「阪急ブレーブス、オリックス・ブルーウェーブ、そして大阪近鉄バファローズ、それぞれの歴史を大切にしたいと思います。そして、これからは大阪の球団として、オリックスが大阪にいてくれて良かったと思っていただけるよう活動していきたい」と話すのは、オリックス野球クラブ（株）の外賀 篤さん（営業開発グループ）。

現在、オリックスは、ガンバ大阪やセレッソ大阪（サッカー）、近鉄ライナーズ（ラグビー）、サントリーサンバーズ（バレーボール）などの在阪スポーツ団体とともに、大阪府と進める『大阪スポーツ王国』事業に参画。大阪府民デーに府民の観戦を優待したり、少年野球教室の開講や地元商店街へのマスコット派遣を行うなど、地元への浸透機会を増やしている。そして何より求められているのが“強いオリックス”。かつて阪急、近鉄、南海のチームが大阪に活気をもたらしていたように、その活躍に大きな期待がかけられている。

4500勝を達成して喜ぶオリックス選手  
写真提供：オリックス野球クラブ（株）





大阪ブランド情報局は、大阪のさまざまなブランド資源情報を発信するホームページです。その最新情報のいくつかをご紹介します。

## 拡大版 21cafe

### 「いま、大阪の文化を考える!!」

2008年5月28日(水) / 芝川ビル(大阪市中央区)

#### 大阪再生に必要なこと

5月に開催された21cafeは、「いま、大阪の文化を考える!!」と題し、大阪府の財政改革案を受け、大阪の文化について掘り下げた議論を行った。雑誌『上方芸能』代表・発行人の木津川計氏は、「今の大阪に必要なのは、文化を中心にした“都市格”と、経済をベースにした“都市力”をともに向上させること。文化の発展による魅力度の向上は、大阪という都市への吸引力を経済だけでなく、さまざまな面にもたらさだろう」と問題提起し、文化による大阪再生の道筋を示した。

#### 大阪21世紀協会の役割

木津川氏の発言を受け、ワッハ上方館長の伊東雄三氏は、「文化を支えるのは人間である。大阪人のバイタリティ・笑い・根性をどう評価するか。大阪の文化を支えてきたのは、こうした民の力だ」と述べ、清風明育社理事長の平岡龍人氏は、「文化は大事。まちの活力は非生産的な人間をどれだけ抱えられるかによっている。一方で、大阪は大きく財政破綻している。今こそ官の役割を見直し、民間を活躍させるための法制度を整備する必要がある」と官民の役割分担を強調した。また、アートコーポレーション専務・村田省三氏は「大阪の都市ブランド戦略を進めていくときに、従来は各自自治体・経済団体がそれぞれ別々に取り組んできたが、大阪21世紀協会がそのプラットフォームを引き受けてくれたことでうまくいった。寄付についても同じで、きちんとした受け皿をつくる必要がある」と、大阪が一枚岩となるためのプラットフォームの重要性を指摘した。



木津川計氏



伊東雄三氏



平岡龍人氏



村田省三氏



堀井良殷 理事長

#### 文化の森を育もう

登壇者の発言を受け、大阪21世紀協会・堀井良殷理事長は、「クラシックや歌舞伎など人類が開発した文化的資産は、誰でもそれを享受する権利があり、それにより感性が養われ、創造的の市民が育つ。そして自分たちも何かやってみようとする中で、創造活動に転化していく。そうした文化の森をきちんと手入れしておくことは大事」と、文化を支える意義を示した。

## 注目の“人財” 続々登場! 「多士彩才」

<http://www.osaka-brand.jp/>

大阪を舞台に活躍する多彩でユニークな人々のコーナー「多士彩才」。水都の魅力をアピールするプロデューサー、長屋再生からまちの再生を仕掛ける建築家、お寺を拠点に多様な文化活動を繰り

広げる若き僧侶、都市の公共空間の使い方を提案するランドスケープデザイナーなど、注目の人材が続々登場しています。人材は人財、人こそ大阪の宝。多士彩才から大阪のエネルギーを感じてください。

### クローズアップ

#### 仏料理界の巨匠 アラン・デュカス氏が表敬訪問

2008年6月6日(金) / 大阪市公館

フランス料理界の巨匠・アラン・デュカス氏が平松邦夫大阪市長を表敬訪問し、10月に西梅田にオープンするフレンチレストラン『ル・コントワール・ブノワ』についてアピールしました。世界に20以上のレストランと4つのオーベルジュ(宿泊できるレストラン)を展開するデュカス氏。大阪出店に当たっては、たこ焼きからうどん、割烹、料亭に至る大阪の食を体験し、大阪の素材・風土・気風を検証して店づくりに活かしたいといます。

訪問を受けた平松市長は、「ぜひ大阪に新しいテイストをつけていただきたい」と、デュカス氏の出店に期待を込めました。



春野恵子氏に聞く――

# 私と浪曲

―いま大阪から伝えたいこと―

## 一目惚れ

29歳のとき、私は自分の生き方にすごく悩んでいました。すでに東京でテレビのバラエティー番組などに出演してそれなりに知名度はありましたが、それは自分の芸に対する人気とは違うものでした。「日々修業し、実力を積み重ねていく実感を持ちながら生きていきたい」。そんな思いを強くしていたある日、たまたま落語を聞きにいった木馬亭(浅草)で、初めて浪曲と出会いました。「自分が一生かけて追求するのはこれだ」ってね。幼い頃から時代劇やミュージカルが好きだったからというのは、後付けの話。思い込みの激しい私は、とくに根拠なく「これだ」って直感しました。そして2003年の夏、私は二代目春野百合子に弟子入りしました。じつは師匠のもとで勉強しだしてから、浪曲の面白さや格好良さがどんどんわかってきたんです。だから直感で浪曲師になっても、一度も後悔したことはありません。今では浪曲があるからこそ生きていけるんだと思えるほどです。

## 大阪の空気

東京生まれ育ちの私が大阪で浪曲師になろうと思ったのは、春野百合子という人が大阪にいたからにはほかなりません。もし師匠が北海道にいたら、私も北海道に行っていたでしょう。何度聞いてもぐいぐい引き込まれる、それが春野百合子の浪曲。舞台を見ると、お客様がだんだん前のめりになっていく感じが手に取るようにわかります。これはもちろん春野百合子だからこそなせる技ですが、同時に浪曲という芸能のもつ力でもあると思います。啖呵(セリフ)と節(歌)、そして三味線による音楽的効果が、人の心をぐっと惹き付けるんです。

大阪は、文楽や歌舞伎など、さまざまな芸能が生まれ育ったところ。芸を追求する者にとって、そうした土壌に足をつけて日々生活しているというだけで、何か得るものがあるように思います。師匠と同じ空気を吸うだけで何かを吸収できるんじゃないかと。最近では文楽の方との交流もあり、義太夫の語りや三味線との合わせ方などは勉強になりますね。そうした大阪の空気は、私の肌にとっても合っています。そして何より嬉しいのは、いろいろ教えてもらったり、激励のお手紙をいただいたり、心から私たちを育てようという気持ちで応援してくださっているお客様の存在です。私はいつも、この方たちを絶対裏切れないと思っています。



春野恵子 (はるの けいこ) 氏

1997年、東京大学教育学部卒。出版社勤務を経て、99年に役者を目指し芸能事務所に所属。2000年、TV『進め!電波少年』のケイコ先生役で一躍人気者に。03年、浪曲師春野百合子に弟子入り。06年3月「堺浪曲新風亭」で初舞台。同年6月、大阪市天王寺区の「一心寺門前浪曲寄席」で本格デビューを果たす。

大川・八軒家浜棧橋  
(大阪市中央区)にて

## ファンがファンを生む

現在、大阪では20人ほどの浪曲師が活躍していますが、春野百合子や京山小圓嬢といった師匠方と、私たち若手の年齢差が数十年ととても大きいのが現状です。三味線にしても藤信初子師匠は90歳代、岡本貞子師匠は70歳代と高齢です。だから若手が頑張って浪曲を伝えていかなくてはという気持がとても強いですね。そこで昨年1月、京山幸枝若師匠の「若手同士で切磋琢磨したほうがいい」という勧めで、30歳代の若手浪曲師による「新星浪曲☆新宣組」を結成しました。さらに10月には東京の若手浪曲師・玉川奈々福さんの声かけで「浪曲乙女組!」を結成し、浪曲の東西交流を行っています。

若手ユニットでカフェやクラブで浪曲をする機会が増えると、今まで浪曲を知らなかった若いお客様や、もう一度浪曲を聞いてみようという年輩のお客様が戻ってこられました。そうした新たな浪曲ファンは、この面白さをどうにかして伝えようと、ひとりひとりが宣伝部長よろしくインターネットや口コミで広めていただき、とてもありがたいと思っています。

現代は、女性が生きて行くうえでとても多くの選択肢があります。だから悩みも多い。どんな生き方が幸せなのか、何を選んで何を捨てるべきか。私は女性の浪曲師として、さまざまな女性の生き方や考え方を描き出すことで、現代の女性にエールを送り、幸せな生き方のヒントを見つけてもらえればと思っています。

## 稲畑産業株式会社

旅と文化とおいしい食事…  
日本とポルトガルの友好を促進

# 大阪日本ポルトガル協会

ポルトガル国名誉領事館と大阪日本ポルトガル協会（以下、葡国名誉領事館、大阪日葡協会）が置かれている稲畑産業。ポルトガルとの関係は、初代社長の稲畑勝太郎氏が1920年にポルトガル国京都駐在副領事に就任したことに遡る。



大阪商工会議所にある稲畑勝太郎氏の銅像。長く会頭も務めていた。

稲畑産業の執行役員で葡国名誉領事館首席秘書、大阪日葡協会事務局長の隅谷康二郎氏によれば「ポルトガルとは特に取引もなかったようですが、ボランティアとして副領事を引き受けたようです」。初代勝太郎氏は、開国間もない明治10年に京都からフランスに派遣された8人のうちの一人で、染色を学び、その経験から国際人としての使命感を持って行動していたのではないかと。このほか、勝太郎氏は関西日仏学館、ヨーロッパ

諸国などでの日本商品館や貿易協会の設立にも尽力している。

初代の遺風残香というべきか、稲畑産業はメセナの中でもとくに国際交流を盛んに行っており、ポルトガルとの交流はその一部。2代目社長の稲畑太郎氏からは代々、葡国大阪駐在名誉領事に就任している。日葡協会は「両国交流450年を記念して設立しよう」という声を受けて、稲畑産業が主軸となって1994年に発足された。ミッションは、両国間の文化と経済交流、相互理解と親善の促進。ポルトガルワインと料理を楽しみ、ファドやポルトガルギターが演奏されるディナーやランチ会、歴史や観光の専門家による講演会、ポルトガル菓子付きの語学教室、美術鑑賞会、史跡見学などの催しがほぼ毎月開かれている。

稲畑産業は今もポルトガルと取引はしておらず「ビジネス抜きのお付き合い」。そのせいか集まる人々も「法人会員よりもポルトガルに興味があるという個人会員が圧倒的」。催しに参加した歴代



今年の例会の様子。  
講演などの後、ポルトガル料理のディナーを楽しむ。

のポルトガル大使は、会員からの熱烈な歓迎ぶりに接して、誰もが必ず「世界で最も活発な友好団体だ」と感激するという。

余談ではあるが、会員間はポルトガル好きという共通項があるため親睦も高く、家族ぐるみの付き合いをしている人も多いのだとか。



大阪駐在名誉領事を務める  
稲畑勝雄会長。

「中にはお子さん同士がご結婚された会員もいらっしゃいますよ」と隅谷氏。なごやかな雰囲気かしのばれるエピソードだ。

「大阪日本ポルトガル協会は、稲畑勝雄会長のもとで約300名の会員の方が加入されています。会の目的は“日本とポルトガル両国間の文化及び経済の交流を促進し、両国間の相互理解と親善の促進に寄与する”と掲げています。事務局の運営方針は会の目的を達成することですが、もうひとつのモットーは“会員の皆様と楽しみながら会の目的を達成する”ことに全力を注いでいます。楽しみながら目的を追求しているようすは、当協会のウェブサイトをご覧ください。また、この輪の中に一緒に入ってください」（年額：法人一口2万円・個人3千円）

稲畑産業株式会社 大阪市中央区南船場1-15-14

大阪日本ポルトガル協会 ホームページ  
<http://www.osaka-portugal.jp/>



# 大阪21世紀協会主催 ハート大阪 秋まつり

お問い合わせ：大阪21世紀協会コラボレーショングループ  
TEL: 06-6942-2004

「水の都・大阪」の魅力を御堂筋や川の上から再発見する、新たな府・市民参加型イベント『ハート大阪 秋まつり』を開催します。御堂筋や中之島一带を会場に、『御堂筋kappo』と『中之島は大きな帆船』の2部構成で行われ、音楽やアート展示、カフェなどの他、水辺で楽しむさまざまなプログラムを予定。御堂筋（南北軸）と中之島（東西軸）を融合することで、時間的・空間的広がりのあるまつりを目指しています。今年の秋は、水の都・大阪を存分にお楽しみください。

## 御堂筋 kappo

とき：平成20年10月12日(日)

12:00～16:00(予定)

場所：御堂筋(梅田新道～本町一帯)

「御堂筋を闊歩し、街の魅力を再発見しよう」と、梅田新道から本町の間の御堂筋を一時車両通行止めにし、歩行者がゆったりと楽しめる空間をつくります。市民参加によるクラシックやジャズなどの街角コンサート、リュックサック展覧会をはじめ、オープンカフェや物産展など、秋の一日を存分にお楽しみください。大阪市役所前広場では、オープニングセレモニーも行われます。

## 10月12・13日の 中之島は大きな帆船

とき：平成20年10月12日(日)、13日(月・祝)

10:00～16:00(予定)

※ナイトプログラム(子ども向け宿泊イベント)は12日のみ実施。

場所：中之島地区一帯

(中央公会堂、大阪市役所周辺、八軒家浜、ほたるまちなど)

「水の都・大阪」の魅力を楽しく体感する、『水都大阪2009』のキックオフイベント。中之島を帆船に見立て、イベント全体を船に関連するストーリーで展開します。水辺に親しむ大川クルーズやウォーキング、海賊気分の宝探しなど楽しさ満載。そのほかにも中央公会堂前での吹奏楽コンサートや、大阪市立科学館で100万個の星を見ることが出来る「メガスタープラネタリウム」を特別上映する「帆船天文台」など、家族で「水の都」の新たな感動に出会ってください。

プログラムの一例：

- ・中之島の景観をたどる ～川面から、川べりから
  - 東コース (川 面) 八軒家浜 ↔ 淀屋橋  
(川べり) 八軒家浜 (南天満公園) 天神橋 土佐堀通  
難波橋 東洋陶磁美術館 中央公会堂 御堂筋
  - 西コース (川 面) 八軒家浜 ↔ ほたるまち、ほたるまち ↔ 淀屋橋  
(川べり) ほたるまち・玉江橋 中之島通 大江橋 御堂筋
- ・パイレーツ オブ ナカノシマン  
(宝物探し遊びと中之島歴史学習)
- ・中之島を切り取るワークショップ  
(映像や言葉で中之島の風景を觀賞)
- ・大きな帆船楽団コンサート  
(中央公会堂前仮設舞台)
- ・帆船天文台  
(大阪市立科学館にて「メガスタープラネタリウム」を特別に上映)

※有料や事前に募集を行うイベントがありますので、詳しくはお問い合わせください。※当イベントの内容は、予告なく変更される場合があります。※各イベントは決定次第順次ホームページでご紹介していきます。 <http://www.osaka21.or.jp/>

## ハート大阪 秋まつり MAP



## 第3回 御堂筋学生音楽祭

お問い合わせ: 第3回御堂筋学生音楽祭実行委員会事務局  
大阪21世紀協会コラボレーショングループ  
TEL: 06-6942-2004

大阪を中心とした関西圏の大学生を核に、多くの学生たちが自ら熱い情熱と豊かな想像力で企画し開催する御堂筋学生音楽祭。3回目となる今年は「つなげる。～City (Osaka) Student Music～」をテーマに、音楽を通してこのイベントに関わるあらゆる人・モノを繋げていこうというコンセプトのもと、「大阪の街の活性化」「大阪のイメージアップ」を試みるものです。「近頃の学生さんはアカンやん」ではなく、「近頃の学生さんもなかなかやりおんなー」と言っていたことを目標に、学生にしかできない音楽イベントをめざしています。



※写真は昨年度のものです。

### とき・場所

とき	開演時間	場所	演目	入場料等
9月13日(土)	13:00～	大阪府立青少年会館	クラシック、吹奏楽	入場無料
9月14日(日)	11:00～	とんぼりリバーウォーク	アコースティック、JAZZ等	入場無料
9月15日(月)	15:00～	梅田 amHALL	バンド演奏等	500円(ドリンク付)
	20:00～	CLUB SAOMAI	DJイベント、展示等	調整中

## 720アワード@2007 グランプリ受賞記念公演

とき: 平成20年9月6日(土)

場所: OBP円形ホール(大阪市中央区城見1/JR環状線、京阪「京橋駅」より徒歩7分、地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク駅」より徒歩1分)

お問い合わせ: 大阪21世紀協会コラボレーショングループ  
TEL: 06-6942-2004

720秒という決められた時間の中で、ダンス・演劇等のパフォーマンスを競う「720アワード」。「おごそかな殴り合い」をテーマに、高い身体能力を駆使したオリジナリティあふれるパフォーマンスで、ノミネート作品8組から見事グランプリに輝いたパフォーマンスユニット

「contact Gonzo」の  
パフォーマンス



「contact Gonzo」が、記念公演を行います。彼らは昨年度のグランプリ受賞をきっかけに、国内外の数々の招聘公演に参加。この1年間で大きく成長、ますます磨きがかかった「contact Gonzo」のダンスは、見る人すべてを魅了するでしょう。

### 水都大阪 NEWS — 水都大阪2009実行委員会 —

## 水都大阪2009 実施計画決定!

去る6月10日、第8回水都大阪2009実行委員会(会長: 平松大阪市長)が開催され、実施計画が決定しました。

その内容は、2009年を「水の都大阪」発展のシンボルイヤーと位置づけ、同年8月22日から10月12日までをコア期間として、水の都大阪らしい多彩なプログラムで構成されています。例えば、中之島公園や八軒家浜周辺では、市民の方からの企画公募などにより水辺の魅力を体感できるようなイベントやワークショップを行う「水辺の文化座」を展開。水の回廊周辺では、それぞれの地域の特性を活かして、水上マーケットやコンサートなど、船着場を中心に地域が賑い、元気になるような船着場プログラムを試験的に実施します。

また、天神橋や難波橋などのライトアップ、光のアートなどによって、昼だけでなく夜も魅力ある水辺の景観作りをめざします。



水辺の文化座のイメージ

このほか、船によるクルーズとまち歩きを組み合わせたクルーズ&ウォークや、水都大阪2009記念シンポジウムなど、水の大阪らしいプログラムを予定しています。

水都大阪2009は、水の都大阪の魅力を国内外に広く発信するだけでなく、多くの市民の方々に企画、運営を含めて参加していただき、水辺の賑わいや水辺を楽しむくみが、この取り組みをきっかけにできあがっていくことをめざしています。

## 大阪からブロードウェイへ

### 第10回 21cafe

ゲスト: 出口最一氏 (ミュージカル・プロデューサー)  
[平成20年4月17日 / 大阪市中央区: 芝川ビル]



この4月にアジア初のトライアウト公演\*を大阪で行ったミュージカル『トリップ・オブ・ラブ』。プロデューサーの出口氏は、大学時代まで関西で過ごし、東京で俳優として活動した後、87年にニューヨークに渡り、プロデューサーとしてのキャリアを積んで

きた。エンタテインメントビジネスのノウハウを勉強して日本に伝えたい、という強い思いが今回の公演として結実した形だ。

「トライアウト公演の誘致は、観光産業の活性化や都市ブランディングにもつながる。今回の『トリップ・オブ・ラブ』でも、上演に合わせて世界中のミュージカルファンに大阪を紹介することで、大阪のブランド力の向上につなげていきたい」と出口氏は抱負を語った。

\*ブロードウェイでの上演に先がけて、観客の反応を見るために行う地方公演

## 100種類の体験講座の見本市 インターナショナルワークショップフェスティバル2008 100DOORS

[平成20年8月1日～10日 / 大阪市中央公会堂 ほか]

昨年8月の38DOORSがさらにパワーアップして、今年は100講座で開催された。大阪市中央公会堂、大阪市立芸術創造館、芝川ビルの3か所を会場に、演劇、ダンス、古典芸能、楽器演奏、着付け、アート、英会話、メイクなど、バラエティ豊かな体験講座を開催。どれも1講座500円でプロの手ほどきを受けられるとあって、多くの受講者で賑わった。主催者のIWF準備委員会委員長・小原啓渡氏は、「100DOORSが、体験を通じて、世代・ジャンル・国境を越えた人々の未来へのアクションを起こすきっかけになれば」と、今後の継続にも意欲を示した。



100DOORSに参加した講師の皆さん (一部)

## ZAKKAな大阪へようこそ!

### 第12回 21cafe

ゲスト: 玉井恵里子氏 (『tapie style』オーナー・インテリアデザイナー)  
[平成20年7月4日 / 大阪市北区: レーベルカフェ]

インテリアデザインの仕事のかわら、南船場で雑貨店『タピエ』を運営する玉井氏。3年前に『大阪ミナミ芸術祭』に参加した際、自分



たちの視点で大阪を可愛く紹介したミニブック『zakkaな大阪』を制作。西日本出版社の内山氏と出会ったことで、今年5月、書籍としての出版につながった。

「(海外の)ガイドブックでは『大阪はヤクザの街』だと紹介されているものがあるけれど、私たちがいる大阪はそんな街じゃない。大阪以外の人たちが、雑貨文化を見て、食事もできて、昔からある素晴らしい文化にも触れることができる、そんな本にしたい」。玉井氏は、楽しいこと、魅力的なことを発信することが、結果として大阪のイメージ向上につながるという視点を強調した。

※第11回は「拡大版 21cafe」として実施しました (P8に記事)。

## 八軒家浜港からスタート

### 七月大歌舞伎・船乗り込み

[平成20年7月1日 / 大川・八軒家浜港～道頓堀川・戎橋]

大阪松竹座で行われる『七月大歌舞伎(7月5日初日)』公演に先立ち、恒例の船乗り込みが行われた。船乗り込みは、昭和54年に『関西で歌舞伎を育てる会(現:関西・歌舞伎を愛する会)』が、「歌舞伎を一般市民にPRするイベントを」と、55年ぶりに復活させたもの。今年は、3月29日に開港した大川の八軒家浜港(大阪市中央区天満橋)からスタートし、阪田藤十郎、尾上菊五郎、片岡仁左衛門など東西の人気役者が、道頓堀川・戎橋までパレードした。また、船には橋下徹大阪府知事や熊谷信昭大阪21世紀協会会長も同乗。一行は大阪松竹座前に揃い、熊谷会長が「世界の文化財であり、日本の誇りである歌舞伎が、豪華絢爛な顔ぶれで繰り広げられることを嬉しく思う」と挨拶した。



八軒家浜港を出発



戎橋に到着

# EVENT GUIDE [イベントガイド]

大阪21世紀協会では、次の各行事を後援・協賛します。みなさまの積極的なご参加、ご支援をお願いします。(平成20年7月25日現在)

	イベント名	日時	会場	主催 / 問合せ先
9月	のんびりよのスタンプラリー	9月1日～11月30日	豊能地区3市2町内 (豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町)	豊能地区広域観光推進協議会 072-724-6727
	2008 OSAKA 手づくりフェア	9月5日:10:00～17:00 6日: 9:30～16:30	マイドームおおさか	大阪卸服飾手芸卸協同組合 06-6271-7087
	財団法人大機能楽堂 自主公演	9月5日・20日 10月3日・18日 11月7日・22日 12月20日 ほか	大機能楽堂	(財)大機能楽堂 06-6761-8055
	第30回 中学生の主張 ～伝えよう!君のメッセージ	9月6日 13:00～17:00	大阪府立青少年会館文化ホール	青少年育成大阪府民会議 06-6942-2442
	フィエスタ・メヒカナ大阪 2008	9月13日～15日 12:00～21:00(最終日 20:00)	新梅田シティ・ワンダースクエア	フィエスタ・メヒカナ実行委員会 06-6440-3901
	上方文化再生フォーラム	9月15日・10月17日・11月21日 ほか	TORII HALL	上方文化再生フォーラム実行委員会 06-6211-2505
	歌舞伎公演 「新版 忠臣蔵」	9月18日 19:00～21:10	箕面市民会館「グリーンホール」	特定非営利活動法人 日本伝統芸能振興会関西支部 06-6574-6911
	全・日本拳法総合選手権大会	9月21日 9:45～16:00	大阪市中央体育館	日本拳法全国連盟 06-6581-1611
	守口・門真 ジャズフェスティバル 2008	9月21日～9月28日 12:00～18:00	守口市内、門真市内10数ヶ所と 門真市民文化会館	守口門真ジャズフェスティバル実行委員会 072-432-6761
	創立50周年記念 2008 全国日本民謡総おどり大会	9月23日 10:00～16:00	大阪府立体育会館 第1競技場	大阪府日本民謡協会 06-6683-0520
	大阪の街道ウォーク	9月23日・10月26日 11月24日 12月6日	集合場所:八軒家浜 京阪天満橋駅 住吉大社境内	大阪再発見プログラム実行委員会 06-6944-2525
	展覧会 「青春のロシア・アヴァンギャルド シャガールからマレーヴィチまで」	9月25日～11月3日 10:30～19:30(入場 19:00)	サントリーミュージアム[天保山]	サントリーミュージアム[天保山] 06-6577-0001
	第17回 枚岡薪能	9月27日 17:30～20:30	枚岡神社境内特設舞台	枚岡薪能実行委員会 0743-76-0177
	第9回 大阪国際音楽コンクール	9月27日 10月5日・10日～13日 11月24日	うはらホール(神戸市) オーシアター(茨木市) ほか いずみホール(大阪市)	大阪国際音楽振興会 06-6625-5931
	OSAKA IN THE WORLD 2008 ～インド編～	9月28日～10月26日	河内長野市、八尾市 ほか	OSAKA IN THE WORLD 実行委員会 072-924-3331
	10月	第26回 全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会	10月5日 13:30～17:00	piaNPO 6F 会議室
水都おおさか 森林の市 2008		10月11日・12日 10:00～16:00	近畿中国森林管理局、 毛馬桜之宮公園、OAP周辺	「水都おおさか森林の市2008」実行委員会 050-3160-6753
2008年 児童画展		10月11日～19日 10:00～18:00	曽根崎地下歩道「イベントゾーン」	(社)大阪府建築士事務所協会 06-6946-7065
第9回 天満音楽祭		10月12日 10:00～19:00	北区民センター、大阪天満宮、 東天満公園 ほか	天満音楽祭実行委員会 06-6351-6679
第31回 少林寺拳法関西実業団大会		10月12日 13:00～16:00	大阪市中央体育館	関西実業団少林寺拳法連盟 06-4393-6311
2008 大阪メチャハッピー祭		10月13日 9:45～19:30(予定)	大阪城ホール ほか	大阪メチャハッピー祭実行委員会 06-4800-8787
升の市		10月17日 9:30～15:30	住吉公園内 松尾芭蕉の句碑の周辺一帯	「升の市」実行委員会 06-6782-6274
「快適都市フォーラム」 「ゆめづくりまちづくり賞」表彰式		10月17日	NHK大阪ホール	近畿の快適都市を考える会 06-6942-1141
体操フェスティバル 2008 OSAKA 国際大会		10月17日:12:15～13:00 19日:10:00～15:30	大阪市庁舎前広場 大阪市中央体育館	NPO法人 MGLA(体操リーダー連絡協議会) 06-6374-5274
第4回 せんば鎮守の杜芸術祭		10月18日 12:00～	坐摩神社	せんば鎮守の杜芸術祭実行委員会 090-8652-7616
大阪ヘルスジャンボリー 2008		10月18日 13:00～17:00	クリスタ長堀 イベントスペース	大阪市 健康福祉局 06-6647-0687
第35回 堺まつり		10月18日・19日 9:00～21:00	堺市内一円 バレード:大小路シンボルロード なんばん市:ザビエル公園 ほか	(社)堺観光コンベンション協会 072-233-5258
南条好輝の近松二十四番勝負 其の十五 「心中宵庚申」公演		10月18日:19:00～20:45 19日:13:00～14:45	国立文楽劇場 小ホール	南条好輝の近松二十四番勝負 06-6848-7451
平成20年 MOA美術館 大阪児童作品展		10月18日～11月30日 9:00～15:00	大阪府内 39会場	MOA美術館大阪児童作品展実行委員会 06-6445-2504
高松宮妃記念杯 第25回 日本菊花全国大会		10月20日～11月23日 9:00～17:00	(株)国華園	日本菊花会 0725-92-1010
第27回 日現展		10月21日～26日 9:30～17:00	大阪市立美術館 地下展覧会室	日本現代美術協会 072-277-1482
第3回 器と工芸展		10月23日～27日 10:00～18:00(最終日 17:00)	ATCホール	器と工芸展実行委員会 06-6947-1912
とくい能		10月24日 19:00～21:00	山本能楽堂	(財)山本能楽会 06-6843-9454
エコアートフェスタ大阪 2008		10月25日～11月3日 10:00～22:00(イベント内容により変動あり)	天保山ハーバービレッジ イベント広場	エコアートフェスタ大阪実行委員会 06-6571-1966
第23回 摂津音楽祭 (リトルカメラ・コンクール)		10月26日 10:00～19:00	摂津市民文化ホール	(財)摂津市施設管理公社 072-635-1404
CYCLE MODE international 2008		11月2日・3日:10:00～17:00 (東京会場:11月7日～9日)	インテックス大阪 (幕張メッセ)	テレビ大阪(株) 06-6947-0284
第九回 船場上方囃の会		11月14日 18:30～21:00	御堂会館 大ホール	船場、上方囃の会 06-6241-1051
「第12回 寝屋川市エコ・フェスタ」 「第27回 寝屋川市農業まつり」		11月16日 9:00～15:00	寝屋川市 打上川治水緑地	寝屋川市 072-824-1181(内線 2706)
第16回 淀川三十石船舟唄全国大会		11月23日 9:30～17:00	高槻市現代劇場 中ホール	淀川三十石船舟唄全国大会実行委員会 072-674-7652
第36回 優遊会書展(公募展)	11月26日～11月30日 9:30～17:00(入館 16:30)	大阪市立美術館 展覧会室1	書法研究 優遊会 072-237-7788	

## 大阪21世紀協会 賛助会員へ入会のお願い

大阪の活性化のため、皆様のご支援をお願いします。

会費(何口でも結構です) ■法人会員 一口につき年会費10万円 ■個人会員 一口につき年会費1万円

特典 ①協会が発行する刊行物の配布 ②協会が主催する各種セミナーなどへの案内  
③賛助会員の参考となる情報・資料の提供など

お問合せ (財)大阪21世紀協会 総務グループ TEL.06-6942-2001

本誌についてのご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

[宛先]

〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1 大阪キャッセルホテル4階  
(財)大阪21世紀協会

大阪ブランドグループ 広報誌担当宛 FAX.06-6942-5945



おたがいの 人権守って 明るい社会

# 誌上舞台

## 狂言

室町時代に成立した日本初の喜劇で、会話中心に展開する。起源は、能と同じ猿楽。能舞台で能と交互に上演することが多い。大蔵流・和泉流がある。

### 罪人と閻魔王の立場が大逆転

案内人 善竹隆司

大蔵流の現行曲は約180曲ありますが、大阪ゆかりの演目は意外に少なく『八尾』と『しびり』くらいしかありません。『しびり』は太郎冠者が主人に肴物を買に行けと命じられる先が堺なのですが、具体的には語られていません。

『八尾』は、八尾地藏にまつわる話という意味でこの名がついています。舞台となっているのはあの世の入り口である六道の辻。登場人物は閻魔王と罪人の二人です。



閻魔王は「武悪」という醜悪な面をつけ、異界の者を象徴する赤い鬼頭巾をかぶり、法被・半切出立ちという豪華な装束を着て堂々と登場します。一方、罪人(亡者)はひよこのように口をすぼめた「うそぶき」の面をつけ、頼りなげな様子。狂言で面をつけるのは、役者の素顔で表現できない、神仏や数百歳の老人、動物や昆虫など特殊な存在の時です。

罪人を見つけた閻魔王は竹杖を振りかざし、罪人を打撃します。地謡とお囃子に合わせて閻魔王が舞うように罪人を責め立てるこの場面は、『八尾』最大の見所です。罪人を地獄へ堕とすべく閻魔王は責めますが、罪人は竹杖の先に手紙をはさんで、「によりにより」と差し出します。

「やいやい、それがしの鼻先に差し出すのは何じゃ?」

「これは八尾の地藏より閻魔王へのお文でござる」

そこで開けてみると、この男を極楽へ送り届けてほしい、さもなくば地獄の釜を蹴破ると書かれたお地藏様からの脅しの手紙。



八尾地藏尊 常光寺  
近鉄大阪線「近鉄八尾」下車  
(大阪府八尾市本町 5-8-10)

先ほどまでの威勢はどこへやら、がつくり肩を落とす閻魔王。フンとばかりに得意げな罪人。最後は、「あら名残惜しの罪人やとて、鬼は地獄へ帰りけり」

狂言の登場人物は閻魔王であろうと人間味があつて滑稽です。でもその可笑しさは相手を否定する笑いではなく、温かな共感の笑い。結末も誰も傷つけません。狂言は今にも通じる、感情描写が豊かな人間賛歌だと思つて演じています。

### 物語のあらすじ

#### 狂言「八尾」

八尾の里人が亡者となり、六道の辻へやって来ます。そこへ閻魔王が現れ「極楽へ行く者が増えて地獄の罪人が不足している」と亡者を責め立てます。しかし亡者は閻魔王と懇意の八尾地藏からの手紙を携えており、中には「この男は信者の又五郎の小舅だから極楽へ案内するように」と書かれています。閻魔王は渋々承知し、亡者は極楽へ旅立ちます。

八尾地藏は常光寺とされており、又五郎は焼失した同寺を再建した実在の檀家。物語の背景には、地獄へも救済に赴く地藏尊への信仰や寺院建立の功德があると考えられます。

### 狂言師

#### 善竹隆司



大蔵流狂言方。能楽協会大阪支部教育特別委員。善竹忠一郎の長男で父に師事。故人間国宝・善竹彌五郎の曾孫。5歳の時「鞍猿」で初舞台。「三番三」「那須語」「釣狐」を披演する。「善竹兄弟狂言会」を弟・隆平とともに主催。宝塚北高校演劇科講師。放送芸術学院・大阪アニメーションスクール講師。兵庫県芸術奨励賞、大阪文化祭奨励賞、神戸キワニス文化賞受賞。

ブログは <http://goodbamboo.blog.fc2.com>

### 狂言を観に行きませんか

#### ●亮之会

9月21日(日)14時〜1般6000円/学生3000円、  
番組「能」小督「木賊」、狂言「狐塚」他  
出演／大槻文蔵、梅若猶義、善竹隆司他  
会場／大槻能楽堂  
交通／地下鉄「谷町四丁目」「谷町六丁目」下車  
☎078127211261(野口亮)

#### ●善竹狂言会

10月19日(日)14時〜1般5000円/学生2500円  
番組「狂言」素袍落「花子」連歌盗人  
出演／善竹忠一郎、善竹忠重、善竹隆司他  
会場／大阪能楽会館  
交通／地下鉄「中崎町」下車  
☎078182213948(善竹会事務所)  
<http://kyogen.jp>